

子どもが育つ魔法の言葉/ドロシー・ロー・ノルト博士より

子育てワンポイント 励ましのことば7

間違いから学ぶ①

子どもと話しあうことは
子どものあやまちを
受け入れることでもあります



あやまちや間違いをおかさない人がいるでしょうか。子どもにとって、あやまちをおかすことは親子のきずなを深めるきっかけにもなります。間違いをおかしたからといって、なにもかもだめになるわけではありません。私たち大人はそのことをよく知っていますね。

よりよい方法を学び、よりよい選択をし、深みのある人間になるためのチャンスでもあるのです。子どもの場合、たいていそれは将来を支える土台になります。

子どもが何か間違いをしでかしたら、一方的にしかりつけるのではなく、教えるチャンスだと考えてください。生きていくうえであやまちは避けられません。それを認めることで、恨みや非難を抱え込まずに生きてゆけるようになるのです。それだけでなく、互いにゆるすことも学べるのです。

あやまちをきっかけに、私たちは教訓を得て、やり直し、赦し、大目に見ることを学び、より深みのある人間になることができます。これらは価値のある経験であり、これから人生を生きてゆく子どもたちにも、ぜひ伝えなくてはならないことなのです。

大人の私たちも教えられる内容ですね。あやまちを「より良く」解決することで、自責の念にとらわれたり、ネガティブな気持ちでなく、前向きに生きてゆける。一方的にならず、「話しあう」ことを実践したいです。次回もお楽しみに。KK